

つくばみらい市立谷井田小学校区における意見交換会  
(これまでの経緯について)

平成 29 年 1 月 17 日

# 1 これまでの経緯について

つくばみらい市の義務教育施設に関する検討のため、平成21年に「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」が立ち上げられました。同審議会におけるこれまでの検討経緯については、下記のとおりとなっています。

平成23年  
9月

## 小中学校の学級数や児童数の適正規模に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市内の義務教育施設の適正配置について」の答申をいただく。

小中学校の適正規模を、小学校を1学年2学級以上、中学校を1学年3学級以上とする。

平成26年  
8月

## みらい平地区における2校目の小学校建設に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について（第1次答申）」をいただく。

みらい平地区における急激な児童数に対応するため、みらい平地区に2校目となる、(仮称)富士見ヶ丘小学校を設置する。

平成27年  
11月

## つくばみらい市内の小中学校の再編に関する検討

- ・本審議会において、「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について（第2次答申）」をいただく。

児童数が増加する地区と減少する地区が混在し、不均衡な教育環境を解消するために、小学校を6校へ、中学校は既存の4中学校を前提とした再編とする。

平成27年  
12月

## 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会

平成28年  
1・2月

## パブリックコメントの実施

平成28年  
3月

## つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画策定

## 2 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会

義務教育施設適正配置計画に関して、市民の皆さんからのご意見を直に伺う機会となる「『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会」の開催を行いました。

- ・日時：平成27年12月3日、7日、8日、13日、14日、15日、17日、20日
- ・場所：伊奈公民館(3日～8日、20日)・谷和原公民館(13日～17日)
- ・参加者数：482人(延べ人数)

### □寄せられた主な意見（抜粋）

<b>谷井田小学校区 参加者数 27 人（平成 27 年 12 月 3 日(木)午後7時～ 場所:伊奈公民館)</b>
(※4 ページ以降に質問・意見を掲載)
<b>小張小学校区 参加者数 62 人（平成 27 年 12 月 4 日(金)午後7時～ 場所:伊奈公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・小張小学校が持つ歴史性を鑑み、みらい平地区と小張小を含めた学区割によって調整を図るべきと思う。</li><li>・過大な陽光台小の児童を小張小へ振分けることで、小張小の存続を学校との関係で、陽光台小学校に統廃合するのではなく、他から児童を通学させて小張小や周辺既存校へ割振るべきだと思う。</li><li>・みらい平地区の児童が小張小に通いたい、まわりが陽光台小に通うので、やむなく通っている方もいるという。小張小が廃校になることについては納得がいかない。</li></ul>
<b>板橋小学校区 参加者数 24 人（平成 27 年 12 月 7 日(月)午後7時～ 場所:伊奈公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・今後の進め方についてももう少し踏み込んで示してほしい。統合検討委員会の設置の時期やそれらの会議の検討期間、目標年次までに統合できなかった場合の対応などについて、ある程度の目処がほしい。</li><li>・適正配置審議会の委員構成やその中で検討していた議論の内容などをオープンにしていきたい。</li></ul>
<b>豊小学校区 参加者数 50 人（平成 27 年 12 月 8 日(火)午後7時～ 場所:伊奈公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・まず発生している複式学級に対処すべきで、全体の統廃合に取り組むのは勇み足ではないかと思う。</li><li>・統廃合によって豊小の校風が失われるのではないかと。地区住民の中でも豊小に愛着を持つ人も多い。そういった部分も考慮して検討いただきたい。</li><li>・学校というのは大事なことで、学校を作るなら地域を見ることが一番。地域に何度も足を運んでいただき、地域住民の意見を踏まえて作ってもらいたい。</li><li>・スクールバスを使う、道路の整備など様々な配慮事項があるが、結局は税金という形で徴収されることになるのではないかと。今のままであれば使わなくてよい金を使うことになる。</li></ul>

<b>福岡小学校区 参加者数 76 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後3時～ 場所:谷和原公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合を考える前に、人口減対策を講じておくべきではなかったか。</li> <li>・福岡小は高台にあり水害の面での安全性は高い。その面を考慮されずに統廃合の案を検討されているように思える。できれば、福岡小に谷原小・十和小を統合させるべきだと思う。</li> <li>・みらい平の児童を既存小学校へ割振ることも考えてほしい。逆に、福岡地区の子どもが(仮称)富士見ヶ丘小に通学することも考えてほしい。</li> <li>・学校に誇りをもってきた。地域に小学校だけは残してほしいと願っている。</li> </ul>
<b>十和小学校区 参加者数 42 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後6時～ 場所:谷和原公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストの面など全体メリットを考えれば、新規の小学校を造るより既存の小学校を活用するほうが良い。</li> <li>・スクールバス検討にあたっては、できれば 3km 未満でもバスが通るなら乗せていただきたい。</li> </ul>
<b>谷原小学校区 参加者数 28 人 (平成 27 年 12 月 14 日(月)午後7時～ 場所:谷和原公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統廃合の目標年度は平成 35 年とあるが時間がかかりすぎではないか。</li> <li>・「地域文化の継承」と謳っているが、統廃合するということは、廃校になる学校の地域文化もあると思う。</li> </ul>
<b>小絹小学校区 参加者数 11 人 (平成 27 年 12 月 15 日(火)午後7時～ 場所:谷和原公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設校2校と既存地区の学校との施設的な平等性も考えてほしい。</li> <li>・みらい平地区にばかり税金を投入しているように見える。不公平感を感じる。</li> </ul>
<b>陽光台小学校区 参加者数 58 人 (平成 27 年 12 月 17 日(木)午後7時～ 場所:谷和原公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陽光台小と小張小が統合した場合、過大な学校の状況が常態化し、良くない教育環境が続くと思う。</li> <li>・例えば、小張小が廃校となった後、中学校として利用することなども考えてほしい。</li> <li>・現在の中学校の選択制が無くなるのであれば、早く学区を決めていただきたい。</li> <li>・+αの要素(特徴ある教育など)が既存の小学校にないと、みらい平地区から既存の学校に率先して通学意向を示すことは難しい。</li> </ul>
<b>三島小学校区 参加者数 59 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午前 10 時～ 場所:伊奈公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級を早急に解消し1クラス1学級のレベルにしていきたい。</li> <li>・統廃合の推進にあたっては、反対意見を十分に尊重することに留意してほしい。</li> </ul>
<b>東小学校区 参加者数 45 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 2 時～ 場所:伊奈公民館)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数が少ない状況は理解するが、それでも学校を残してほしいというのが正直なところである。</li> <li>・自分の子どもの頃を考えると、ある程度の人数がいてこそ学校だと思う。統合には賛成の意見である。</li> <li>・小学校がなくなってしまうたら、この地区はもっと人数が減り、過疎化が益々進むことになるのではないかな。</li> <li>・耐震化工事をするなど税金を使って綺麗にしたのであれば、これから先も学校として使っていけるようにしていきたい。</li> </ul>

**(参考)『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会**

日時：平成27年12月3日(木) 19:00~21:00

出席：27名(子どもを除く)



**□主な質問・意見の概要**

主な質問・意見		回答
<b>1. 基本計画全般について</b>		
1	今回の住民説明会の後で3月に策定となるのは期間が短すぎないか。	この計画(案)の策定は、一般の方の公募の委員、学校の関係者、議会の関係者、各PTAの代表の方などによって構成された審議会において11月に答申という形をいただいた後、市の行政内部で計画(=答申とほぼ同じ内容)としてとりまとめ、今回はじめてお示ししたという流れである。
2	住民説明会等によって意見を集約したあとに、計画案を作成するという流れであるべきで、逆ではないか。	基本計画をまとめた後、地区ごとに説明をしながら進めていくにあたって、「市の考え方はこうだ」ということで市がどのように考えているかという姿勢を示すことが大事であると考えている。 そして、地域の方からは「地域としてはこの考え方に対してこのように考えている」といったキャッチボールをしながら進めていきたいと考えている。
3	計画が出来た後、地域に説明するというスタンスが疑問。今回も含め、説明会を実施し、矛盾なり問題なりが出た場合、計画の作り直しの必要性が出た場合、どういう対応を図るのか。	教育環境を整えていく責任は市にある。この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を示した上で、皆様のご意見をお聞きし、具体的な統廃合の取り組みに入っていきたい。計画に添って必ずしも進めなければならないことではない。市としての考え方をまとめ、その説明をして、理解をいただきながら、学校の統廃合の取り組みを行っていききたい。
4	本年度末には計画案の「案」がとれて、計画の策定となっている。この段階では、まだ計画案のとりまとめというレベルでいいのではないか。	あいまいな考えで、地元の説明を行ってしまっただけでは、逆に皆様にご迷惑がかかってしまう。計画が出来た段階で、関係者の方々に対してご説明をしながら具体的な統廃合に向けた意見のすり合わせを行っていききたいと考えている。
5	子ども達のことを考えるのであれば、地域への説明を十分に行ってからということではなく、子ども達の将来を考え、進めていただきたい。 合意形成に時間を費やすのではなく、適正な教育環境を実現するための先進事例や解決方法を積極的に取り入れ、素早くやるべきである。	保護者への説明においても「子ども達のための教育環境を整えていくことを第一に考えている」といったことを十分に説明し、他市町村の成功事例や方策を研究しながら進めてまいりたい。

6	<p>小規模校の良さもある一方、これらを排除し、無くすとした市の考え方の背景を教えてください。また、保護者や先生の意見をどう把握されようとしているか。</p>	<p>現在の小規模校では、どこでも陽光台小に負けない教育をすると頑張っており、皆さん取り組まれている。しかし、こういう状況に至る中では、学校の職員や校長先生などからは、子どもの数が少なくなっていることが学校運営上にも支障をきたしており、それらの問題解消に頑張っており取り組まれている姿が印象に強い。</p> <p>子ども達の教育環境を整えていくことを第一に考えると、小規模校の良さだけを見ていては課題が多いように思う。</p>
7	<p>廃校となる学校施設が今後果たす地域の役割をどう考えるか。</p>	<p>地域においても、学校は重要な位置づけであることは認識している。これまで学校については、空調設備や耐震化などを実施しており、施設を解体していくことはしないと考えている。例えば、地域にとっても大切な秋祭りなどの行事は、廃校となった後も必ず実施しようという人が出てくるはずである。</p> <p>廃校となった施設については、地域の方々が集う場所として、残していくことを考えたいと思っている。</p>
8	<p>保護者や先生の意見をどう把握されようとしているか。</p>	<p>今回の計画策定にあたっては、各小学校のPTAの代表の方々も入った適正配置審議会を立ち上げ検討してきた。この適正配置審議会での話は、PTAの方も持ちかえって話し合っていたことからのため、現在の保護者に対しては、この統廃合の話は届いているものと考えている。</p>
9	<p>統廃合はできるところから実施するのか、全体を一緒に進めていくという考えか。</p>	<p>平成28年以降の進め方は、まずは、地域の皆さんのご意見を聞きながら進めていく点でスタートは一緒である。しかし、谷井田・豊・三島は一括で進めたいと考えている。後から豊小が合流となると子どもたちも馴染みにくくなってしまいうため、出来るだけ避けたいとは考えている。しかし、熟度が違う場合がある。これらは調整しながら進めていきたいと考えている。</p>
<p><b>2. 合意形成について</b></p>		
1	<p>地域の合意は、どのような方法によって行い、何をもって合意とみなすのか。住民説明会などは行うのか。</p>	<p>来年度以降、この枠組みを主体にして、地域の皆さんと話し合いをしていくこととなる。その中で、「こういう課題を解決してほしい」といった意見や要望をもらいながら、我々も意見に沿うように対応を示し、お互いに共通理解を持って、話し合いを進めていきながら合意点を見いだしていきたいと考えている。</p>